

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2020	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科		
科目名称 [英語名称]	教育実習(特支) [Teaching Practice]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	
科目コード	750150	授業形態	実習	単位数	1	配当学年	4年次
教員氏名	瀬戸口 裕二			学位授与の方針 との関連			
授業概要	この授業は、大学において学んだ理論や技術を実際の場で実践あい、検証することを目的としている。既に、幼稚園あるいは小学校において指導教諭等の指導を受けながら実習を経験している。特別なニーズを有する児童との直接的な触れ合いを通して、大学で習得した知識や理論を教育の現実に適用することで実践的な能力を磨く。加えて、教職についての使命感を高め、自己の能力・適性について自覚するとともに、新しい課題を発見し、卒後の学びに反映させる態度等を養う。この実習は、主として4年次後期に行い、同内容の指導を複数の教員で行うものである。						
関連する科目	特別支援学校教諭免許状を取得するための必須単位14単系の関連関連性が高い。						
授業の進め方と方法	実習期間中は教員が巡回して指導を行う。						
授業計画	2週間(80時間)都城きりしま特別支援学校で教育実習を行う。実習期間中において、児童観察、模範授業観察、教材研究及び指導法研究、学習指導案作成、研究授業の実施など、必要に応じて集団及び個別に実施する。実習終了後に、実習生が教育実習全般を振り返り教員の資質の観点から何が実践上の弱点なのかを自己分析し今後の課題を明らかにすることをねらいとして事後指導を行う。実習期間中は教員が巡回して指導を行う。						
授業の到達目標	特別支援学校教諭免許状を取得するための必須科目である。教育実習を通して、特別支援学校における「教育実践」の実際を学び、特別支援学校教諭として必要な専門知識、基本的な指導技術を実践的に理解する。具体的には、発達障害児、特に知的障害児童・生徒を理解し、授業を展開していく力量を育てる場である。また、学習指導案の作成等を通して特別支援学校教育についての実践的な力量を高めることを目的とする。						
授業時間外の学修							
課題に対する フィードバック	実習期間中は教員が巡回し、課題の整理を行いフィードバックする。			評価方法	本大学の教育実習評価単位認定方法に照らして評価する。		
テキスト	教育実習日誌、教育実習手引き、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領、特別支援学校学習指導要領解説 総則等編(幼稚部・小学部・中学部)						
参考書	・文部科学省 特別支援学校幼稚部教育要領、小学部・中学部学習指導要領、高等部学習指導要領 ・文部科学省 特別支援学校学習指導要領解説 総則等編(幼稚部・小学部・中学部)						
備考							